

## 粉体改良材による地盤改良工法

### — DJM工法 —



雨水ポンプ場建設工事のうち電気設備棟下部地盤の圧密沈下低減を目的とした地盤改良としてDJM工法が採用されました。

DJM工法は軟弱地盤中に粉粒体の改良材を供給し、強制的に原位置土と攪拌混合することにより土質性状を安定させるとともに強度を高める工法です。

本現場は民家等が近接することから、小型の単軸機DJM1100型施工機を用いて施工しました。

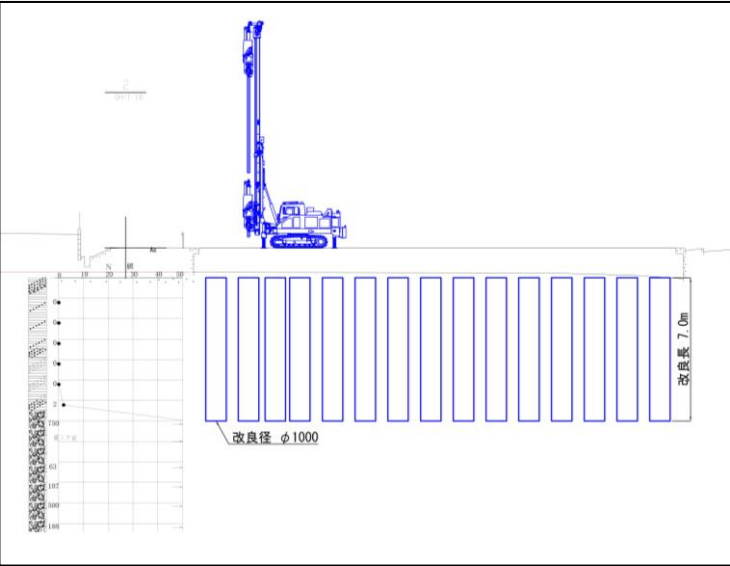
施 工 数 量			
造	成	径	φ 1,000
改	良	土 量	1,604.54 m <sup>3</sup>
本		数	292 本
貫	入	長	8.31 m/本
改	良	長	7.00 m/本
使	用	固 化 材	生石灰
固	化	材 混 合 量	40kg/m <sup>3</sup>



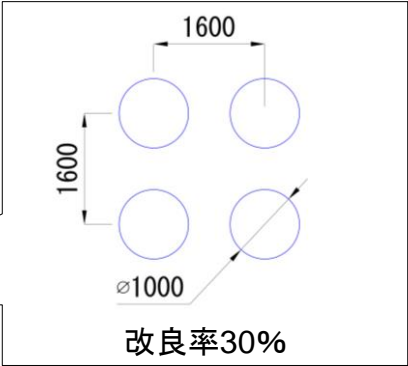
平面図



断面図



基本配置図



施工状況



造成径確認



一軸圧縮強さ		
検 体 数	36 本	
設 計 強 度	300 k N/m <sup>2</sup>	
現 場 強 度	最 大 値	3,630 k N/m <sup>2</sup>
	最 小 値	1,010 k N/m <sup>2</sup>
	平 均 値	1,712 k N/m <sup>2</sup>

